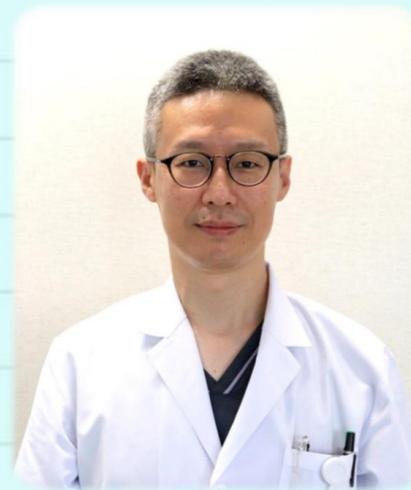


2022年4月より毎週1回火曜日の午後、川上村診療所にお世話になっています。総合診療科後期研修医として当院に在籍していた頃にも伺ったことがあるため、ほぼ15年ぶりに診療させていただくこととなりました。



久しぶりに伺って実感したのは、一緒に診療にあたってくださる方々の力の大きさでした。普段診療している臼田の本院では、必要となった検査などにはすぐアクセスできますが、診療所は状況が大きく異なります。このため、検査や治療を目的として高次医療機関への紹介を検討する機会が多いのですが、その判断に必要となる患者さんの生活の様子、特に患者さんを支援できるご家族や介護サービスに関する情報は、一緒に診療する看護師さんの力なしでは得難いと思っています。また、診療所の事務局やデイサービス職員の方にも、診療がスムーズに進むよう配慮してい

ただ場面がたくさんあります。こうした環境で診療することで、私自身の力の問題もあるのですが、やはり一人でできることの限界と他職種の方と協働することで得られる力の大きさを実感しています。

また、外傷など緊急性が高いと思われる状況では、本院の医師に直接電話し対応を相談することも

もありました。おかげで受診当日は診療所で応急処置を行い、翌日本院へ紹介することができましたが、こうした連携が速やかにとれる点は佐久総合病院グループから医師が診療に行くことの大きな利点にもなっていると感じました。

診療以外の面では、季節によって移りゆく山々の様子を見られることが印象に残っています。夏の燃えるような緑や秋の色とりどりの紅葉など、日頃病院と自宅を行き来しているだけでは見られない景色を目の当たりにし、南佐久の魅力を改めて感じました。この原稿を書いている現在は紅葉もすっかり終わっていますが、これからの時期は雪景色を楽しめればよいなあと考えています。

